

緑の基本計画の改定及び 未来を創る子どもファースト推進プロジェクトの取り組みについて

1. 緑の基本計画の改定について

(1) 緑の基本計画とは

緑全般の施策を推進することを目的としており、都市緑地法に基づき、市町村が策定するもので、都市公園を含む、緑の適正な保全と緑化の推進に関する施策を実施するための総合的な計画であり、八戸市都市計画マスタープランに基づく個別計画の位置付けである。

(2) 改定の理由

本市では平成15年度に計画期間20年（令和5年度まで）として緑の基本計画を策定し、公園整備等、各種施策に取り組んできたが、都市緑地法の改正により都市公園の維持管理方針等について緑の基本計画に新たに盛り込むことが求められたことや、人口減少・少子高齢化、SDGs・環境問題への関心の高まり等、社会情勢が変化したことから、令和5年3月に改定を行ったもの。

(3) 改定の方針

○新規整備から再整備・管理・運営への転換

公園整備は一定程度の進捗が図られたことや市民アンケート調査及び市民提言を受けて、緑の量よりも質の向上を目指し、「ストックの利活用・維持修繕の適正化」へ転換した。

○緑の目標水準に管理目標を追加

都市公園等面積という「量」の整備目標に加え、アンケート調査における満足度という「質」の管理目標を新たに設定した。

(4) 改定後の計画概要

○計画期間：20年間 [令和5年3月（2023年）～令和25年3月（2043年）]

○計画目標：

・「量」の整備目標：市民1人当たりの都市公園等面積（緑の量）

調査時期 調査項目	当初計画 平成15(2003)年	改定計画 令和3(2021)年	最終目標 20年後
緑の量 (㎡/人)	11.7 ㎡/人	14.3 ㎡/人	20.5 ㎡/人

・「質」の管理目標：アンケート調査における市内の緑、身近な緑への満足度

調査時期 調査項目	平成15(2003)年	改定計画 令和3(2021)年	最終目標 20年後
市内の緑への満足度	— (15.6%)	20.7%	25%以上
身近な緑への満足度	— (16.2%)	16.8%	20%以上

※平成15年時は、管理目標として定めていないが満足度調査は実施済

(5) 主な取組

○管理に関する取組

- ・公園施設長寿命化計画の推進、公園樹木管理計画策定の検討
- ・ストック再編や機能再編（役割分担）の考え方の導入による身近な公園の充実

○整備に関する取組

- ・八戸公園におけるインクルーシブ遊具の設置
- ・地元住民のニーズに対応した公園施設の充実
- ・未整備公園における公民連携による公園整備の検討

2. 未来を創る子どもファースト推進プロジェクトの取り組みについて

2-1. こどもの国大型複合遊具設置事業について

(1) 事業概要

市民と共に八戸の未来を創るまちづくり戦略として策定された「未来共創推進戦略」における「未来を創る子どもファースト推進プロジェクト」の事業の一つとして実施するもので、こどもの国の魅力がより一層向上するよう、子どもファーストの視点に立ち、年齢や体力、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが楽しく遊ぶことが出来るインクルーシブの考えを取り入れた遊具を配置する「インクルーシブゾーン」、怖そうだけど挑戦してみたいという子どもたちの好奇心をくすぐるような、よりアクティブな遊具を配置する「アクティブゾーン」を整備するものである。

また、遊具や施設には、いかずきん、ウミネコ、八幡馬等の八戸市を象徴するデザインを採用し、八戸市の魅力を県内外に発信するもの。

(2) 事業箇所



(3) 事業内容

- 事業期間：令和4年度～令和7年度(4か年)
- 事業費：約2億5千万円
- 主な施設の整備スケジュール

年度	インクルーシブゾーン	アクティブゾーン
令和4年度	・複合遊具 ・ゴムチップ舗装	・大型複合遊具(一部)
令和5年度	・単体遊具 (サポート付ブランコ) (オムニスピナー) ・ゴムチップ舗装	・大型複合遊具(一部)
令和6年度	・パーゴラ	・大型複合遊具(一部) ・単体遊具 (タワーネット)
令和7年度	・単体遊具 (クッションマット) (鉄琴パネル) ・ゴムチップ舗装	・大型複合遊具(一部) ・単体遊具 (スカイロープ) ・四阿

(4) 完成イメージ及び利用状況



利用現況 (R5. 4. 1 開園日)



2-2. 市民で賑わう公園魅力向上事業について

(1) 事業概要

「未来を創る子どもファースト推進プロジェクト」の事業の一つとして実施するもので、市民アンケート調査及び八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議からの提言より、緑の質の向上が求められていることに加え、「対話と共感」をスローガンに行われている公民館サロンで出された地域住民の声を反映させるため、公園の魅力向上を図り、市民で賑わう公園とするものである。

(2) 事業内容

○包括管理の委託のグレートアップ（草刈り、樹木剪定等）

作業内容等を再編、拡充し、草刈、清掃等の日常管理や樹木管理業務の効率化と品質の向上を図る。

- ・事業費：70,715 千円／年
- ・公園数：146 公園
- ・芝生状況の改善写真

類家中央5号公園

前年度の状況：除草：1回／年

今年度の状況：管理人派遣 除草：2回／週



○八戸市公園樹木管理計画の策定（現況調査、計画策定）

公園樹木管理計画を策定し、公園樹木を継続的かつ計画的に管理し、公園利用者をはじめとする市民の安全・安心の確保を図る。

- ・事業費：34,000 千円（現況調査 18,000 千円、計画策定 16,000 千円）
- ・公園数：142 公園（樹木本数：約 2.2 万本）
- ・公園樹木の現況



○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備

町内会等、地元住民のニーズに対応した公園施設の充実と未整備公園の早期整備を図る。

- ・事業費：660,000 千円
- ・公園数：30 公園（未整備公園 5、公園施設要望公園 25）
- ・令和 5 年度における公園整備事業費：22,000 千円



(3) 事業計画

		事業費(千円)	
種別 年度	①包括管理委託等	②八戸市公園樹木 管理計画策定	③公園施設の充実及び 未整備公園の早期整備
令和5年度 (事業費)	樹木等包括管理委託(132公園) 清掃等包括管理委託(13公園) 草刈等包括管理委託(36公園) 福祉作業等(10公園)	公園樹木現況調査 ・樹種、巨木化、越境等 ・34公園、約7,000本	未整備公園の整備(2公園) ・類家中央7号公園 (仮)糠塚公園
	70,715	6,000	22,000
令和6年度以降 (事業費)	令和5年度の 包括管理委託等を継続	公園樹木現況調査 ・樹種、巨木化、越境等 ・108公園、約15,000本 公園樹木管理計画策定	未整備公園の整備(4公園) ・(仮)糠塚公園、とりの木沢公園ほか 公園施設の充実(25公園) ・三島下公園、江陽緑地ほか
	70,715/年	28,000	638,000
	事業費計	34,000	660,000